

患者アンケートのクロス分析結果
東京医科歯科大学・国際交流センター
大北葉子

1. 目的

患者の医者に対する態度と患者の性格の関係を調べ、患者の性格が患者の医師に対する態度に与える影響を調べる。

2. 方法

患者240人（男94人 女144人）にアンケートに答えてもらった。表1に患者の年齢層別人数を示す。「医者に対する意見」は表2の9項目で、「はい」「いいえ」で答えてもらった。「性格」は表3の8項目で「1. そう思う」「2. どちらかというそう思う」「3. どちらかというあまりそう思わない」「4. そう思わない」で答えてもらった。記述的統計量を求め、クロス分析（カイ2乗分析）を行った。クロス分析で「医者に対する意見」と「性格」での年齢層、性別による差、および「医者に対する意見」と「性格」の関係を調べた。

表1 患者の年齢層別人数

年齢層	10～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	60歳以上
人数	282	50	28	32	31	44

表2 医者に対する意見

1. 患者は、医者が専門知識を持っているから尊敬するのだと思う
2. 医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う
3. 医者には親切な人が多いと思う
4. 説明をきちんとできない医者が多いと思う
5. 医者の説明を理解できない時は、患者から質問をすべきと思う
6. 医者にはなによりも人柄が大切だと思う
7. 話し方や礼儀をわきまえない医者が多いと思う
8. 患者は、医者に症状や悩みを適切に伝える工夫をすべきと思う
9. 患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う

表3 性格

1. 温和である
2. 人の話をよくきく
3. 相手を立てる
4. 自分の意見は言う

5. 文句をよく言う方である
6. すぐかっとなる
7. ちょっとしたことでもすぐに病院に行く
8. 病院に行く前に病気について色々調べてから行く

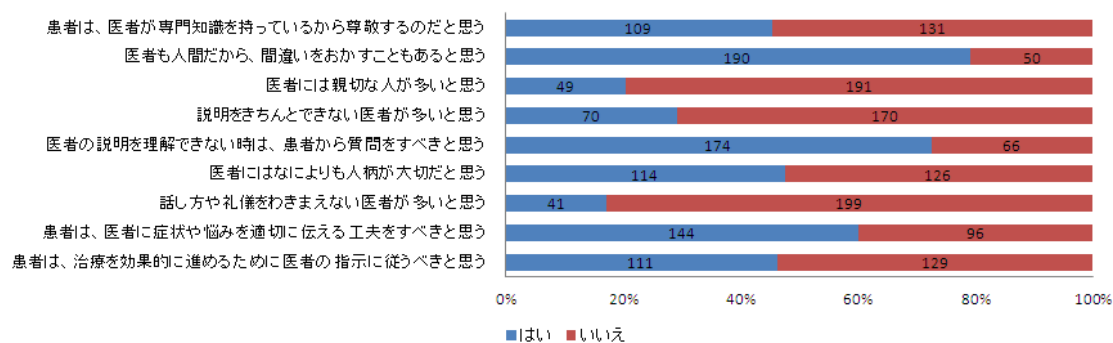
3. 結果と考察

3. 1 医者に対する意見の結果

表4とグラフ1に医者に対する意見の記述的統計結果を示す。9項目すべてで性別による差は見られなかった。年齢層別では、項目2 $\chi^2=13.1$ (df=5 p=0.02) 項目4 $\chi^2=16.5$ (df=5 p<0.01) 項目5 $\chi^2=11.3$ (df=5 p=0.04) 項目6 $\chi^2=11.2$ (df=5 p=0.04)で有意差がみられた。表5に「医者に対する意見」と「年齢層」のクロス表の残差分析結果を示す。

表4 医者に対する意見の結果

	はい 人数	いいえ 人数
1. 患者は、医者が専門知識を持っているから尊敬するのだと思う	109 45.4%	131 54.6%
2. 医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う	189 79.2%	50 20.8%
3. 医者には親切な人が多いと思う	49 20.4%	190 79.6%
4. 説明をきちんとできない医者が多いと思う	70 29.2%	169 70.8%
5. 医者の説明を理解できない時は、患者から質問をすべきと思う	173 72.5%	66 27.5%
6. 医者にはなによりも人柄が大切だと思う	114 47.5%	126 52.5%
7. 話し方や礼儀をわきまえない医者が多いと思う	41 17.1%	199 82.9%
8. 患者は、医者に症状や悩みを適切に伝える工夫をすべきと思う	144 60.0%	96 40.0%
9. 患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う	111 46.3%	129 53.8%



グラフ1 医者に対する意見の結果

表5 「医者に対する意見」と「年齢層」のクロス表残差分析結果

項目2 医者も間違ふ

年齢	回答	
	はい	いいえ
10-20	120+	23-
21-30	20	5
31-40	12	3
41-50	13	4
51-60	8-	9+
60 以上	16	6
合計	189	50

項目4 説明できない医者が多い

年齢	回答	
	はい	いいえ
10-20	32+	111-
21-30	8	17
31-40	9-	6+
41-50	7	10
51-60	9	8
60 以上	5-	17+
合計	70	169

項目5 患者から質問すべき

年齢	回答	
	はい	いいえ
10-20	93+	50-
21-30	21	4
31-40	13	2
41-50	15	2
51-60	15	2
60 以上	16	6
合計	173	66

項目6 医者には人柄

年齢	回答	
	はい	いいえ
10-20	68	75
21-30	7+	18-
31-40	4	11
41-50	10	7
51-60	9	8
60 以上	15-	7+
合計	113	126

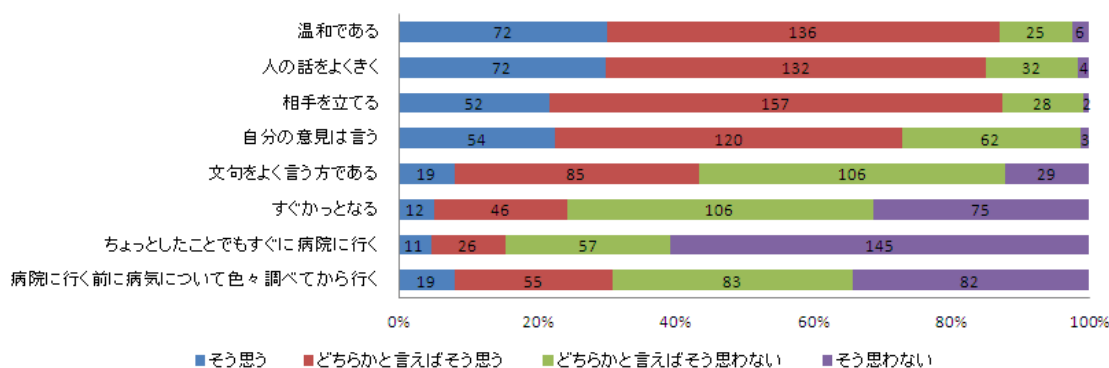
注：＋：残差分析で有意に多い ー：残差分析で有意に少ない

項目2「医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」は20歳以下で賛成が、50歳代で反対が有意に多かった。項目4「説明をきちんとできない医者が多いと思う」は20歳以下で賛成が、60歳以上で反対が有意に多かった。項目5「医者の説明を理解できない時は、患者から質問をすべきと思う」は20歳以下で賛成が有意に多かった。項目6「医者にはなによりも人柄が大切だと思う」は20歳代で賛成が、60歳以上で反対が有意に多かった。若い世代は医者を見做しせず、技術的に懐疑的で、患者が積極的に質問すべきと思っているが、60歳以上では医師とのコミュニケーションよりも、技術を重視している傾向があることを示唆している。項目1「患者は、医者が専門知識を持っているから尊敬するのだと思う」、項目6「医者にはなによりも人柄が大切だと思う」、と項目9「患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う」の回答は賛否半々であった。項目3「医者には親切な

人が多いと思う」には否定的な回答が80%近くあったが、項目7「話し方や礼儀をわきまえない医者が多いと思う」には否定的な回答が80%近くあった。医者は礼儀正しいが親切ではないと思われている可能性がある。項目2「医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」は80%が肯定しており、医者が間違いをおかすことがあることは認識していると思われる。項目6「患者は、医者に症状や悩みを適切に伝える工夫をすべきと思う」は肯定が60%だった。項目4「説明をきちんとできない医者が多いと思う」は70%が否定的で、項目5「医者の説明を理解できない時は、患者から質問をすべきと思う」は70%が肯定的であった。医者への患者の信頼はあるが、医者は患者との意思疎通の向上に努めることを期待され、医者の説明に満足できないときは患者から質問すべきだと大半が考えていることを示唆している。

3. 2 性格の結果

グラフ2に医者に対する意見の結果を示す。大半は自分を温和な性格であると見ていて、病院に行くのには慎重で、病気について詳しくしらべていくほうではない傾向がある。



グラフ2 医者に対する意見の結果

3. 4 「医者に対する意見」と「患者の性格」のクロス分析結果

患者の態度項目2「医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」と性格項目6「すぐかっとなる」 $\chi^2=11.23$ (df=3 p=0.01)、患者の態度項目3「医者には親切な人が多いと思う」と性格項目1「温和である」 $\chi^2=7.80$ (df=3 p=0.05)、患者の態度項目3「医者には親切な人が多いと思う」と性格項目7「ちょっとしたことでもすぐに病院に行く」 $\chi^2=12.98$ (df=3 p=0.005)、患者の態度項目4「説明をきちんとできない医者が多いと思う」と性格項目5「文句をよく言う方である」 $\chi^2=10.16$ (df=3 p=0.01)、患者の態度項目9「患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う」と性格項目8「病院に行く前に病気について色々調べてから行く」 $\chi^2=9.64$ (df=3 p=0.02)で有意差がみられた。表6に「医者に対する意見」と「患者の性格」のクロス分析の残差分析結果を示す。

「すぐかっとなる」どちらかとそう思うと思っている人は「医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」人が有意に少なく、「すぐかっとなる」と思っていない人は「医

者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」人が有意に多かった。冷静な人は「医者も人間だから、間違いをおかすこともあると思う」と思う傾向があることを示唆している。

表6 「医者に対する意見」と「患者の性格」のクロス分析の残差分析結果

	医者への態度 2	
性格 6	いいえ	はい
1	4	8
2	15+	31-
3	22	84
4	7-	68+
合計	48	191

	医者への態度 3	
性格 1	いいえ	はい
1	50-	22+
2	112	24
3	22	3
4	6	0
合計	50	189

	医者への態度 3	
性格 7	いいえ	はい
1	7	4
2	15-	11+
3	51+	6-
4	117	28
合計	49	190

	医者への態度 4	
性格 5	0	1
1	10	9
2	53-	32+
3	82+	24-
4	24	5
合計	169	70

	医者への態度 9	
性格 8	いいえ	はい
1	5-	14+
2	30	25
3	53+	30-
4	41	41
合計	71	66

注：＋：残差分析で有意に多い　－：残差分析で有意に少ない

「温和である」と思っている人は「医者には親切な人が多いと思う」人が有意に多かった。「ちょっとしたことでもすぐに病院に行く」とどちらかと思っている人は「医者には親切な人が多いと思う」人が有意に多く、「ちょっとしたことでもすぐに病院に行く」とどちらかと思っていない人は、「医者には親切な人が多いと思う」人が有意に少なかった。性格が温厚な人は医者が親切だと思い、病気を気にしてすぐに病院に行く人は医者が親切だと思い、病気を比較的気にせず病院に行かない人は医者が親切ではないと思っている傾向があると考えられる。患者が医者が親切でないと思うことが病院を遠ざける原因であるかもしれない。

「文句をよく言う方である」とどちらかと思っている人は、「説明をきちんとできない医者が多

いと思う」人が有意に多く、反対に「文句をよく言う方である」とどちらかと思っていない人は、「説明をきちんとできない医者が多いと思う」人が有意に少なかった。文句を比較的言う人は医者が説明できると思わず、文句を比較的言わない人は医者が説明できていると考えられる。

「病院に行く前に病気について色々調べてから行く」と思っている人は、「患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う」人が有意に多く、「病院に行く前に病気について色々調べてから行く」とどちらかと思っていない人は、「患者は、治療を効果的に進めるために医者の指示に従うべきと思う」人が有意に少なかった。病気について関心があり調べていく人は医者を信頼しているが、病気についてあまり調べない人は医者を信頼していない傾向があることを示唆している。

患者の性格は患者の医者に対する態度に影響を与えていると思われる。さらなる検証が必要だが、病気について詳しくしらべる人が医者の指示に従う傾向があるといのは、患者が理解納得すれば医者の指示に従うということを示唆しているのではないだろうか。

4. まとめ

今回調査したグループでは、患者の性格が医者に対する態度と関係があることが示された。20歳以下の若い世代では医者に完璧を期待せず、60歳以上ではコミュニケーションよりも技術を重視していた。医者は礼儀正しいが、親切ではなく、患者は分からないときは患者から質問すべきで、医者にコミュニケーションの向上を期待していると考えられる。温厚な人は医者が親切だと思い、すぐ病院に行く人は医者が親切だと思っていた。文句を比較的言うと思っ
ている人は医者が説明できないと思っていた。病気についてよく調べて病院に行く人は医者の指示に従うべきだと思っていた。患者は病気についてよく理解があれば医者の指示に従うと考えられる。